



第**127**期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第127期第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、中間報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 新家啓史

## 事業の経過及び成果

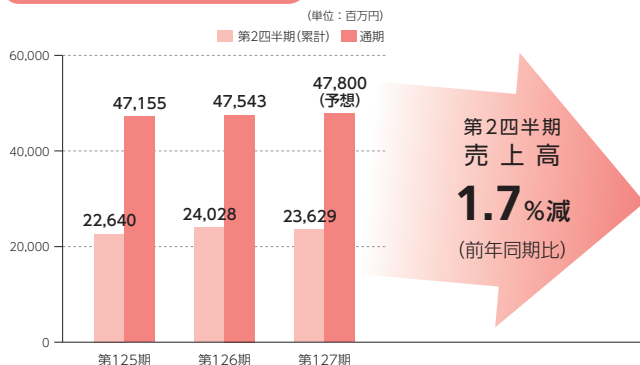
当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米中の貿易摩擦激化による両国経済の減速や英国のEU離脱問題、世界の自動車生産の低迷等により、世界経済は低成長にとどまり減速基調が続いております。国内においては、外需の不振、消費税増税等の懸念があるものの、堅調な個人消費、企業の設備投資の増加などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は236億29百万円（前年同期比1.7%減）となりました。収益面につきましては、売上高の減少

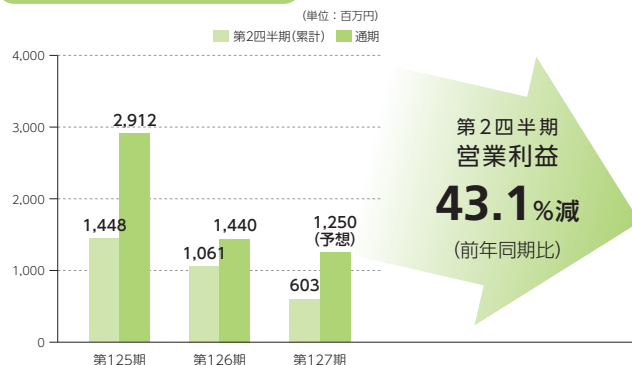
に加え、鋼材価格等の高騰、新興国通貨安による輸入品コストの上昇及び為替差損発生の影響等により、営業利益は6億3百万円（前年同期比43.1%減）、経常利益は5億79百万円（前年同期比41.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億66百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

なお、中間配当につきましては、期初の計画通り実施を見送らせていただきたいと存じますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### 売上高



### 営業利益



## ■ 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、世界経済は減速基調が続いており、長期化する米中通商摩擦、欧州の政治不安や中東情勢の緊迫化など、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況の中、本年、当社は『切り拓こう たゆまぬ挑戦で 未来を！』をスローガンとする第11次中期

経営計画（2018～2020年度）の2年目を迎え、ものづくり企業としての原点に立ち返り、既存商品の競争力を徹底的に磨き上げながら事業と技術領域の拡大に向けて挑戦を続け、多様な人財を育成し活用することで、今後も発展を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 第127期（2020年3月期）連結業績予想の修正

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表した通期の業績予想を2019年10月31日に下記の通り修正いたしました。

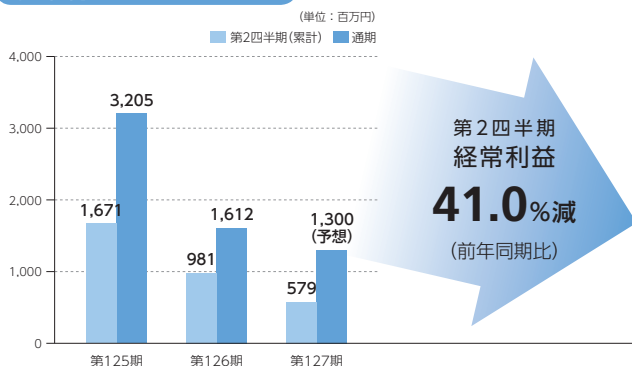
（単位：百万円）

|     | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 |
|-----|--------|-------|-------|---------------------|
| 修正前 | 49,000 | 2,100 | 2,500 | 1,600               |
| 修正後 | 47,800 | 1,250 | 1,300 | 450                 |

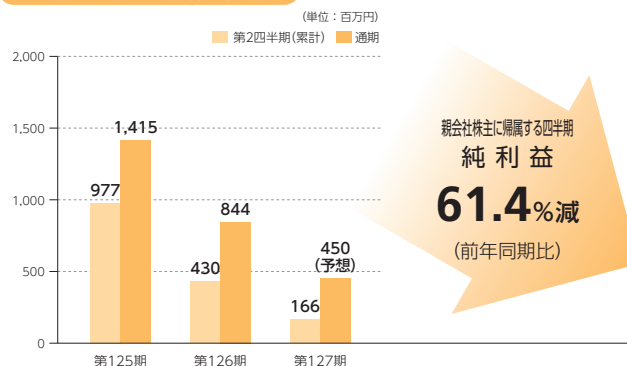
### 修正の理由

2020年3月期の業績予想につきまして、売上高は新興国市場向けにおいて政府の規制や価格競争の激化により低調に推移するとともに、為替の影響もあり、前回予想を下回る見込みであります。利益面につきましては、経費及び製造コスト削減等により挽回に努めるものの、売上高の減少に加え、鋼材価格等の高騰、新興国通貨安による輸入品コストの上昇及び為替差損発生の影響等により、前回予想を下回る見込みであります。

### 経常利益



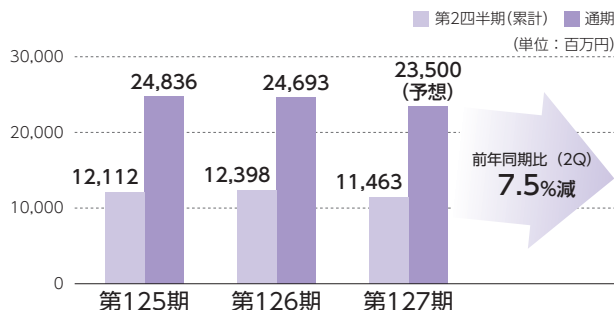
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## 所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

## ● 日 本

二輪車用アルミリムにおいて、前年同期に完成車メーカーの生産工場移転に伴う生産減少の影響があったことや、コンベヤにおいて、環境搬送関連設備の受注が好調に推移するとともに、セメント・電力関連向けの産業機械用チェーンの受注も好調に推移しました。一方、鉄鋼・電力関連向けの搬送関連設備の受注が低調であったことや、二輪車用チェーン・スポーク等においても、国内完成車メーカーの在庫調整の影響等により受注が低調に推移したことに加え、四輪車用チェーンにおいて、当社製品採用車種のモデルチェンジの影響等により受注が低調に推移したことから、売上高は前年同期比7.5%減少の114億63百万円となりました。

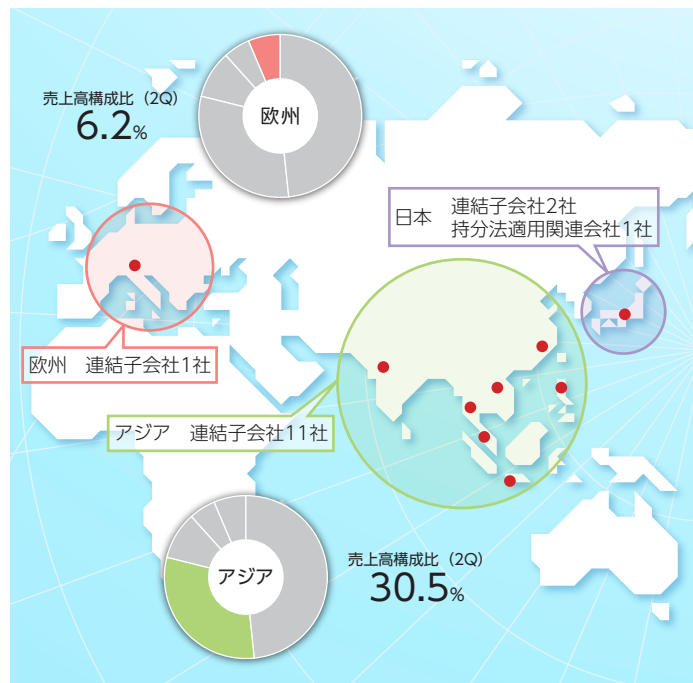


## ● ご参考 ●

## 仕向地別セグメント

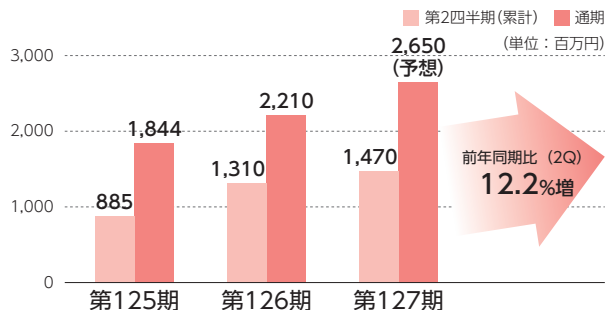
（顧客の属する国または地域を基準としたもの）

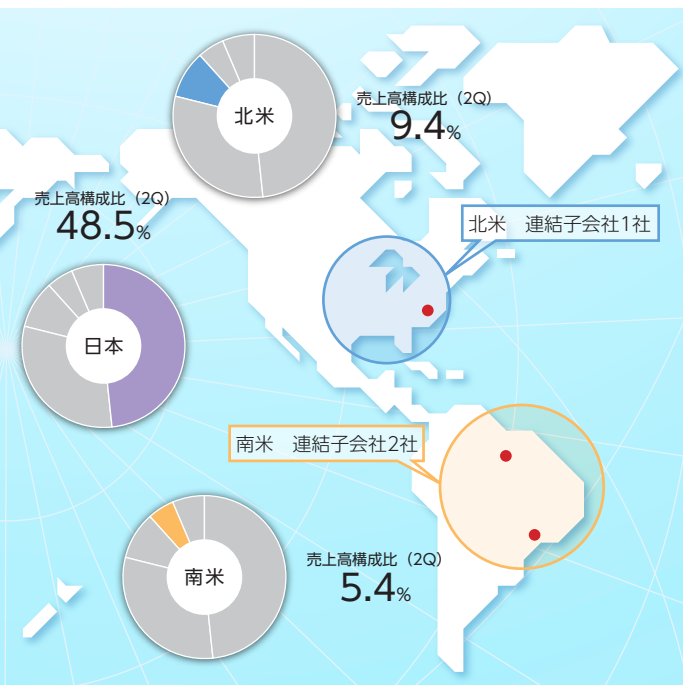
|       | 売上高 (百万円) | 構成比   | 前年同期比  |
|-------|-----------|-------|--------|
| 日 本   | 10,427    | 44.1% | 5.8%減  |
| ア ジ ア | 7,771     | 32.9% | 3.8%増  |
| 北 米   | 2,234     | 9.5%  | 4.9%増  |
| 南 米   | 1,381     | 5.8%  | 9.2%減  |
| 欧 州   | 1,514     | 6.4%  | 4.8%減  |
| そ の 他 | 299       | 1.3%  | 28.8%増 |



## ● 欧 州

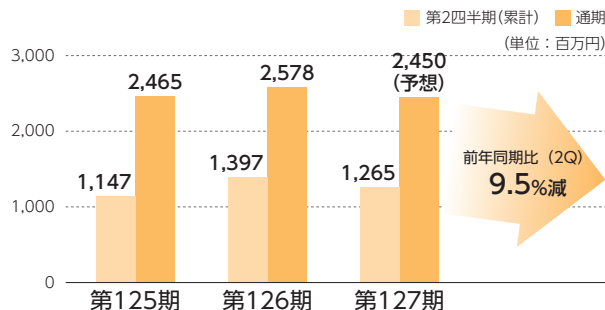
補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が西欧向けを中心に好調に推移したことから、売上高は前年同期比12.2%増加の14億70百万円となりました。





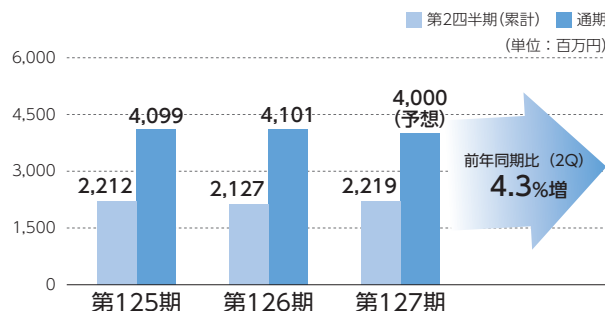
## ● 南 米

二輪車用チェーンにおいて、完成車メーカー向けの売上は好調に推移したものの、リアル安の影響が大きく響き、売上高は前年同期比9.5%減少の12億65百万円となりました。



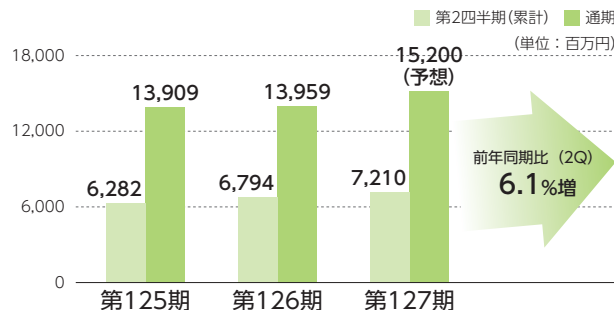
## ● 北 米

産業機械用チェーンの受注が内需拡大を背景に堅調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいても販売先の新規開拓等により受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比4.3%増加の22億19百万円となりました。



## ● アジア

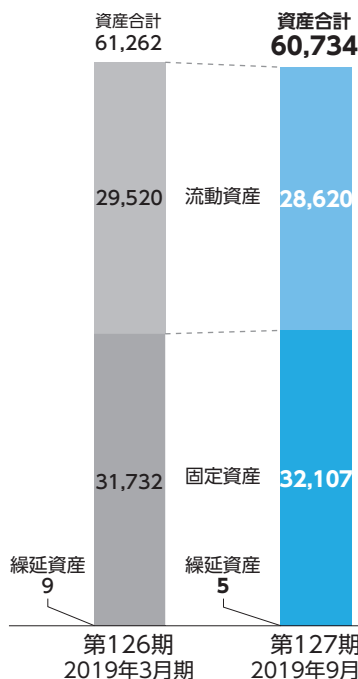
タイにおいて空調関連向けの搬送関連設備の受注が好調に推移するとともに、インドネシアにおいても完成車メーカー向けの二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比6.1%増加の72億10百万円となりました。



# 財務の状況（連結）

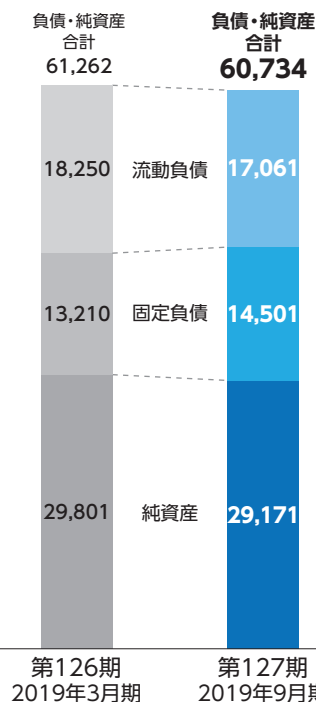
## 資産の部

単位：百万円



## 負債及び純資産の部

単位：百万円

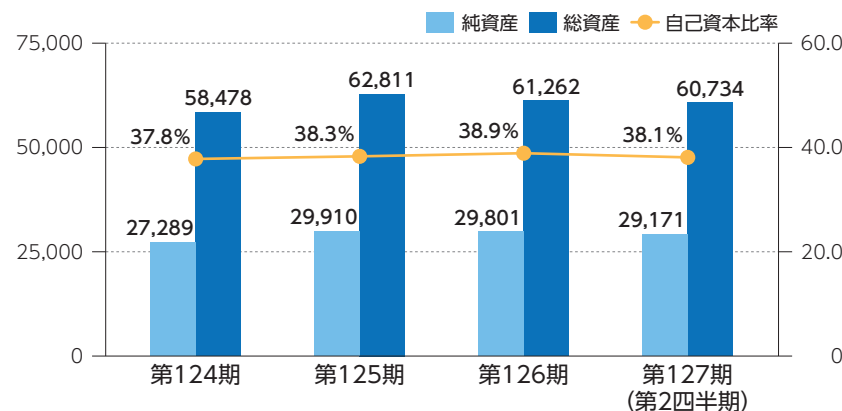


### ポイント解説

総資産は、仕掛品、機械装置及び運搬具、建設仮勘定が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券が減少したことなどにより、前期末と比べ5億28百万円減少しました。負債は、支払手形及び買掛金、繰延税金負債が減少したものの、借入金が増加したことなどにより、前期末と比べ1億2百万円増加しました。純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前期末と比べ6億30百万円減少しました。

## 純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

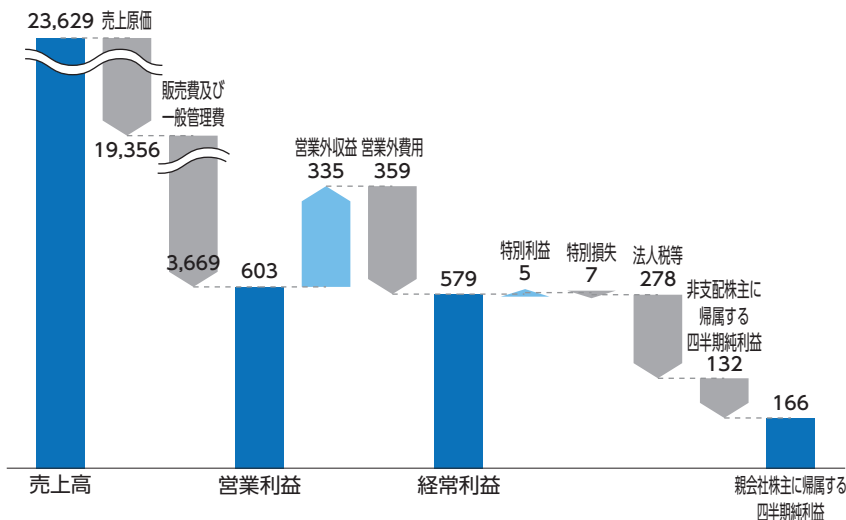


### ポイント解説

自己資本比率は、投資有価証券の時価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前期末と比べ0.8ポイント減少の38.1%となりました。

## ● 損益の状況 (2019年4月1日～2019年9月30日)

単位：百万円



### ● ポイント解説

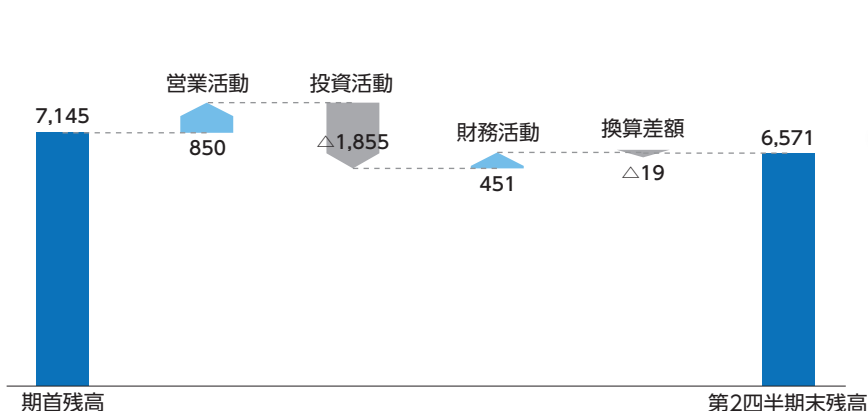
売上面では、アジアにおいて搬送関連設備や二輪車用チェーン、欧州において補修市場向け二輪車用チェーンの受注が好調に推移しましたが、国内において二輪車用チェーン・スポークや四輪車用チェーンの受注が低調に推移したことに加え、南米においてレアル安の影響を大きく受けた結果、前年同期を下回りました。利益面では、売上高の減少に加え、鋼材価格等の高騰、新興国通貨安による輸入品コストの上昇及び為替差損発生の影響等により、前年同期を下回りました。

(単位：百万円)

|       |          | 売上高    | 営業利益  | 経常利益 | 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |
|-------|----------|--------|-------|------|----------------------|
| 第127期 | 2019年9月期 | 23,629 | 603   | 579  | 166                  |
| 第126期 | 2018年9月期 | 24,028 | 1,061 | 981  | 430                  |

## ● キャッシュ・フローの状況 (2019年4月1日～2019年9月30日)

単位：百万円



### ● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が増加、仕入債務が減少したものの、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上等により、8億50百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や関係会社株式の取得による支出等により18億55百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、非支配株主への配当金の支払等の一方、借入による収入により4億51百万円の獲得となりました。

## 会社の概況

商 号：大同工業株式会社

設立年月日：1933年5月25日

資 本 金：35億3,651万円

従 業 員：652名（個別） 2,321名（連結）

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者（定年後再雇用社員、派遣社員等）は含んでおりません。

## 事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地

福 田 工 場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20

動 橋 工 場：石川県加賀市動橋町井22-1

東 京 支 社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（ユニゾ人形町三丁目ビル）

札 幌 営 業 所：札幌市東区北18条東18-1-3

栃 木 営 業 所：宇都宮市東宿郷4-2-20（KDビル）

浜 松 営 業 所：浜松市北区三方原町1130-2

名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7

大 阪 営 業 所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）

西 日 本 営 業 所：福岡市博多区博多駅南1-3-6（第三博多偕成ビル）

熊 本 営 業 所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

## グローバルネットワーク

### 国内ネットワーク

- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行
- 株式会社スギムラ精工

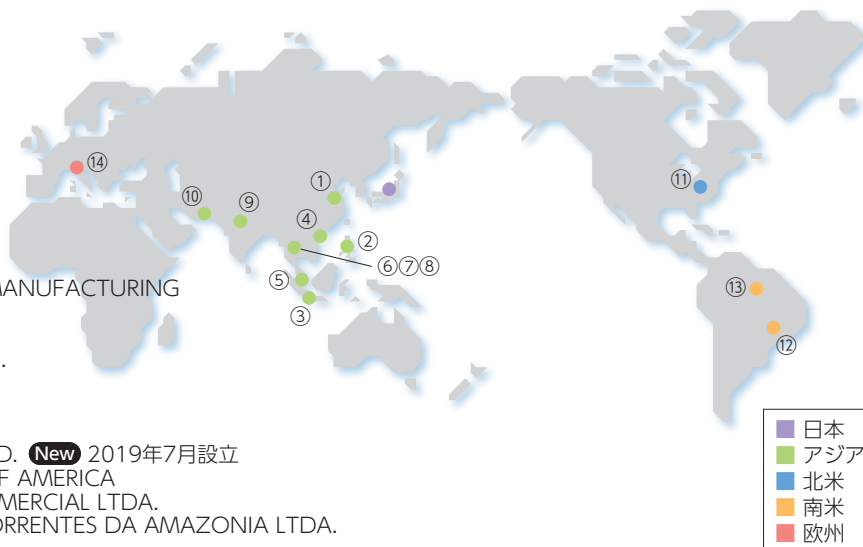
### 海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- フィリピン ② D.I.D PHILIPPINES INC.
- インドネシア ③ P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ④ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- マレーシア ⑤ DID MALAYSIA SDN. BHD.
- タイ ⑥ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑦ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑧ INTERFACE グループ（3社）
- インド ⑨ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- パキスタン ⑩ ATLAS DID (PRIVATE) LTD. **New** 2019年7月設立
- アメリカ ⑪ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- ブラジル ⑫ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑬ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑭ DID EUROPE S.R.L.

## 会社役員の場合

| 会社における地位  | 氏 名     |
|-----------|---------|
| 代表取締役会長   | 新 家 康 三 |
| 代表取締役社長   | 新 家 啓 史 |
| 専 務 取 締 役 | 立 田 康 行 |
| 常 務 取 締 役 | 菊 知 克 幸 |
| 常 務 取 締 役 | 清 水 俊 弘 |
| 取 締 役     | 澤 保     |
| 取 締 役     | 棚 橋 健 一 |
| 常 勤 監 査 役 | 福 田 治   |
| 監 査 役     | 笠 松 靖 男 |
| 監 査 役     | 東 森 正 則 |
| 監 査 役     | 廣 田 信 也 |

- (注) 1. 取締役澤保氏、棚橋健一氏は社外取締役であります。  
2. 監査役笠松靖男氏、東森正則氏、廣田信也氏は社外監査役であります。  
3. 当社は、澤保氏、棚橋健一氏、廣田信也氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。



## 株式の状況

発行可能株式総数：32,000,000株

発行済株式総数：10,924,201株（自己株式1,227株含む）

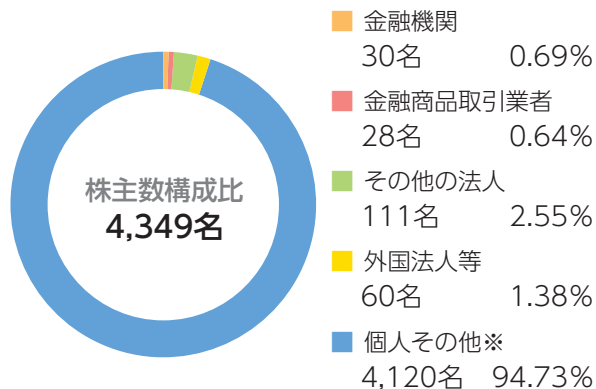
株主数：4,349名

## 大株主（上位10名）

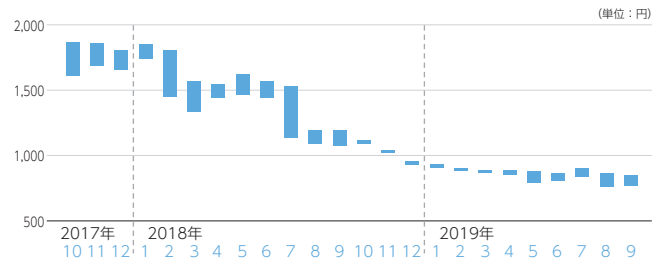
| 株主氏名及び名称                  | 持株数   | 持株比率  |
|---------------------------|-------|-------|
| 株式会社 飯田                   | 547千株 | 5.01% |
| 株式会社 北國銀行                 | 456   | 4.18  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）   | 452   | 4.14  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 424   | 3.89  |
| 日本生命保険相互会社                | 275   | 2.52  |
| 加賀商工有限会社                  | 262   | 2.40  |
| 大同生命保険株式会社                | 259   | 2.38  |
| 株式会社 みずほ銀行                | 258   | 2.36  |
| 株式会社 三菱UFJ銀行              | 258   | 2.36  |
| 新家 萬里子                    | 257   | 2.36  |

（注）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

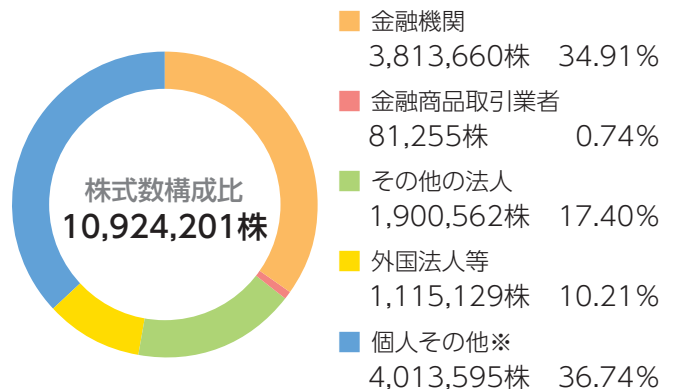
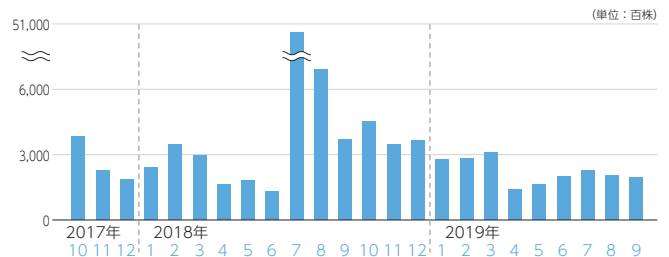
## 株式分布状況



## 株価（高値・安値）の推移



## 出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

## ■ 合併会社『ATLAS DID (PRIVATE) LTD.』を設立



▲合併会社調印式

ブランドチェーンの一貫生産を行うべく、3社による合併会社設立に至りました。

一貫生産の開始は2021年の3月を予定しており、2024年には年間700万メートルの生産能力到達を目指し、今後は3社一丸となってパキスタンでのビジネス拡大を図って参ります。



▲ATLAS DID (PRIVATE) LTD. 工場内

2019年7月22日、当社と、当社タイ子会社であるDAIDO SITTIPOLO CO., LTD.及びパキスタンの大手企業であるアトラスグループの子会社ATLAS AUTOS (PRIVATE) LTD. (以下、AAPL) との3社にて、二輪車用チェーンの一貫生産を行う合併会社『ATLAS DID (PRIVATE) LTD.』を設立しました。

パキスタン国は人口が約2億人で、近年、二輪車の需要が増え続けており、二輪車部品メーカーにとって魅力的な成長市場です。当社とパキスタンの繋がり深く、40年以上前から補修用チェーンの販売を行っており、現地でも多くのお客様にD.I.Dブランドのチェーンを愛用いただいております。

パキスタンにおける旺盛な二輪車の需要に応えるため、2017年11月にAAPLと技術援助契約を締結し、現地でのD.I.Dブランドチェーンの組立生産体制の構築を進めて参りました。そしてこの度、更なる販売拡大を見据え、D.I.D

### ATLAS DID (PRIVATE) LTD. 会社概要

所在地：カラチ市 アトラス工業団地  
(カラチ中心地から約20km)

設立日：2019年7月22日

事業内容：二輪車用チェーン等の製造・販売

生産能力：年間約700万メートル (2024年予定)

従業員数：180名 (2024年予定)

資本金：12億パキスタンルピー (約9億4千万円)

出資比率：ATLAS AUTOS (PRIVATE) LTD. 60%  
当社 20%

DAIDO SITTIPOLO CO., LTD. 20%

## PR活動情報

5月

### MEX金沢2019

場所：石川県産業展示館

北陸最大級の規模で開催される機械工業見本市「MEX金沢」では、二輪、四輪、産機、福祉機器といった当社の各事業製品を展示し、多くの来場者にブースを訪問していただきました。

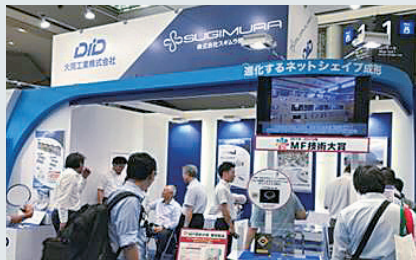


8月

### MF-TOKYO2019

場所：東京ビッグサイト

最先端のプレス技術等が展示される「MF-TOKYO」では、業務資本提携を行っている㈱スギムラ精工と共同出展し、同社が手掛ける当社製品のクランクプロケット製造工法が評価され、MF技術大賞を受賞しました。



9月

### フードファクトリー2019

場所：東京ビッグサイト

自動化・省人化につながる食品機械が出展される「フードファクトリー」では、空気の力で搬送物を吸着させながら搬送する「エコキューム」を用途別に3種類展示し、多数の引き合いをいただくことができました。



7月

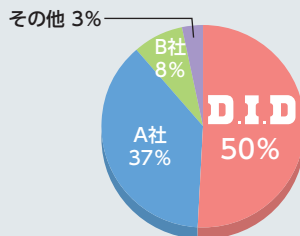
### 鈴鹿8時間耐久ロードレースでイベントブースを出展

場所：鈴鹿サーキット

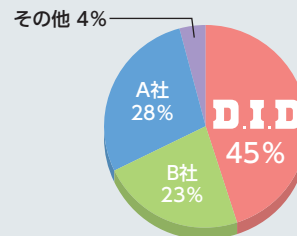
7月25日～28日の4日間、鈴鹿8時間耐久ロードレース（以下8耐）が開催され、当社では期間中にサポートチームである「YAMAHA FACTORY RACING TEAM」に対する物品供給やチェーン交換を行うとともに、イベントブースを出展し、当社製品の魅力をPRすることができました。また、同時に8耐参加チーム全66台及び会場内の二輪車駐車場のチェーンブランド占有率を調査したところ、D.I.Dチェーンの占有率が約50%という結果となり、プロ・アマ問わず高い支持を得ていることがわかりました。



※グラフ①・②は当社調べです



グラフ①  
8耐参加チーム全66台の  
チェーンブランド占有率



グラフ②  
会場内二輪車駐車場で  
のチェーンブランド占有率

## 株主メモ

|                          |                                                                                                                        |          |  |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--|
| 事業年度                     | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                      |          |  |
| 定時株主総会                   | 毎年6月開催                                                                                                                 |          |  |
| 単元株式数                    | 100株                                                                                                                   |          |  |
| 単元未満株式の<br>買取制度          | 1単元                                                                                                                    | (100株)   |  |
|                          | 単元未満株式                                                                                                                 | (1から99株) |  |
| 基準日                      | 定時株主総会                                                                                                                 | 3月31日    |  |
|                          | 剰余金の配当                                                                                                                 | 期末 3月31日 |  |
|                          |                                                                                                                        | 中間 9月30日 |  |
|                          | そのほか必要があるときは、あらかじめ<br>公告して定めた日                                                                                         |          |  |
| 株主名簿管理人<br>(特別口座の口座管理機関) | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社                                                                                      |          |  |
| 株主名簿管理人<br>事務取扱場所        | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                 |          |  |
| (郵便物送付先)                 | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                     |          |  |
| (電話照会先)                  | ☎ 0120-782-031                                                                                                         |          |  |
| (インターネットHP URL)          | <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>            |          |  |
| 公告の方法                    | 当社ホームページに掲載(電子公告)<br><a href="https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html">https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html</a> |          |  |
| 上場取引所                    | 東京証券取引所市場第一部                                                                                                           |          |  |
| 証券コード                    | 6373                                                                                                                   |          |  |

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い  
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に  
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する  
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なし  
にこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

